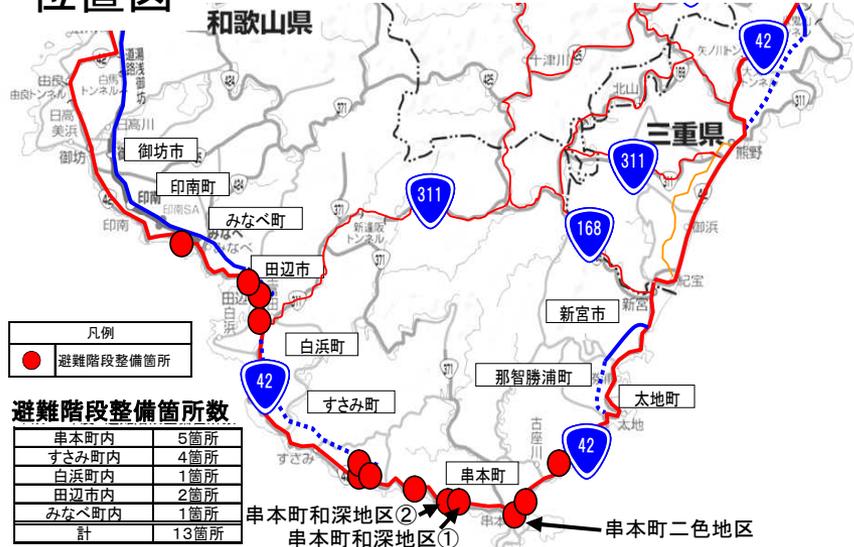


道路の法面を活用した津波災害時の避難階段設置

・南海トラフの巨大地震による津波浸水地域の避難活動を支援するため、紀南管内の国道42号沿いに、道路の法面を活用した避難階段を13箇所設置した。

・避難階段は、津波等の災害時に海岸線にいる人々が、標高の高い所へ迅速に避難できるよう設置したものであり、平成25年3月に完成した。

位置図



市町名	最大津波高 (m)	平均津波高 (m)
御坊市	16	14
印南町	15	13
みなべ町	14	12
田辺市	12	11
上富田町	無	無
白浜町	16	10
すさみ町	19	10
串本町	17	10
那智勝浦町	14	9
太地町	13	8
新宮市	14	10

和歌山県津波浸水予測図より(平成25年3月)

津波避難階段設計13か所

国土交通省南海トラフ巨大地震対策推進本部が、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、津波が襲来する可能性がある地域に、津波避難階段を13か所設置することを決定した。このうち、和歌山県内には、串本町二色地区、串本町和深地区①、串本町和深地区②の3か所に設置される。また、和歌山県内には、串本町二色地区、串本町和深地区①、串本町和深地区②の3か所に設置される。また、和歌山県内には、串本町二色地区、串本町和深地区①、串本町和深地区②の3か所に設置される。

平成25年 4月26日(金) 読売新聞31面

串本町二色地区

着工前



完成



串本町和深地区①

着工前



完成



串本町和深地区②

着工前



完成

